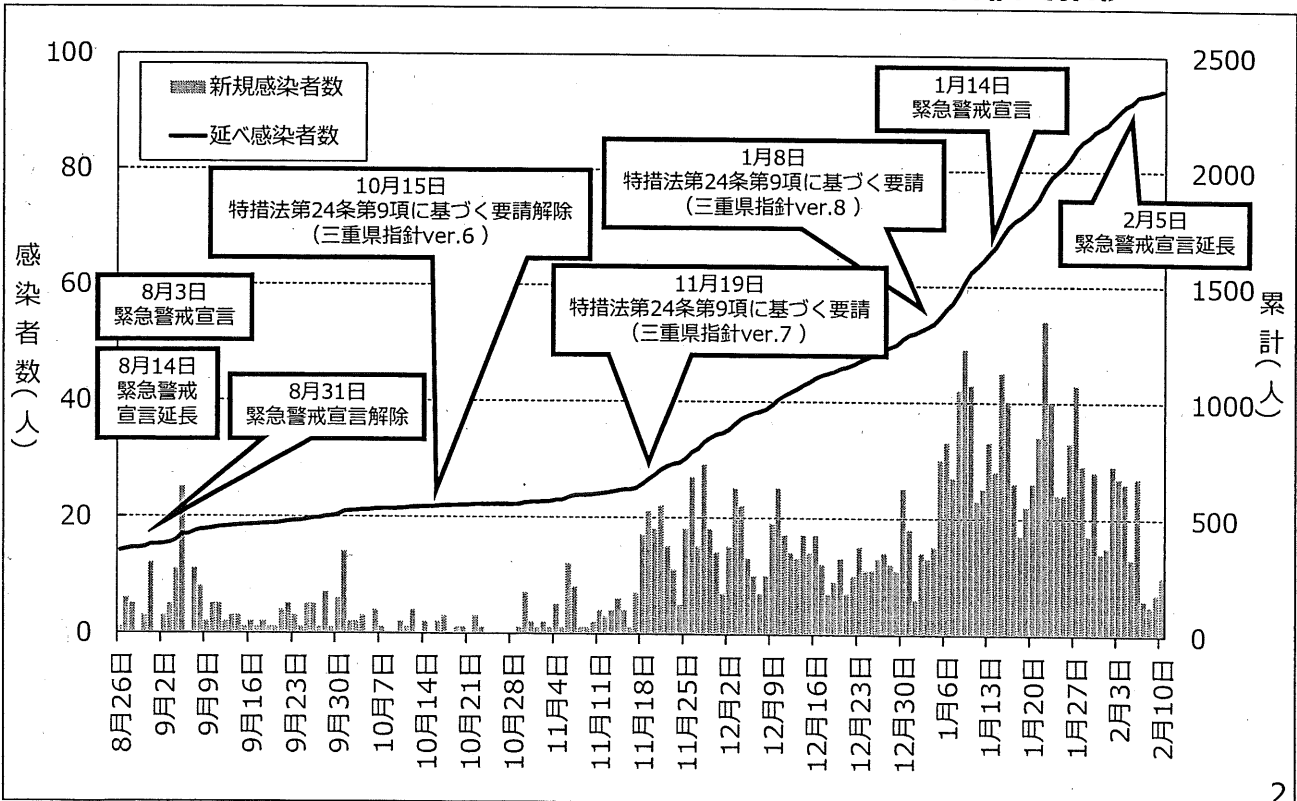


# 新型コロナウイルス感染症の 県内発生状況等について

1

## 県内患者発生状況 (n=2353, R3.2.10時点)

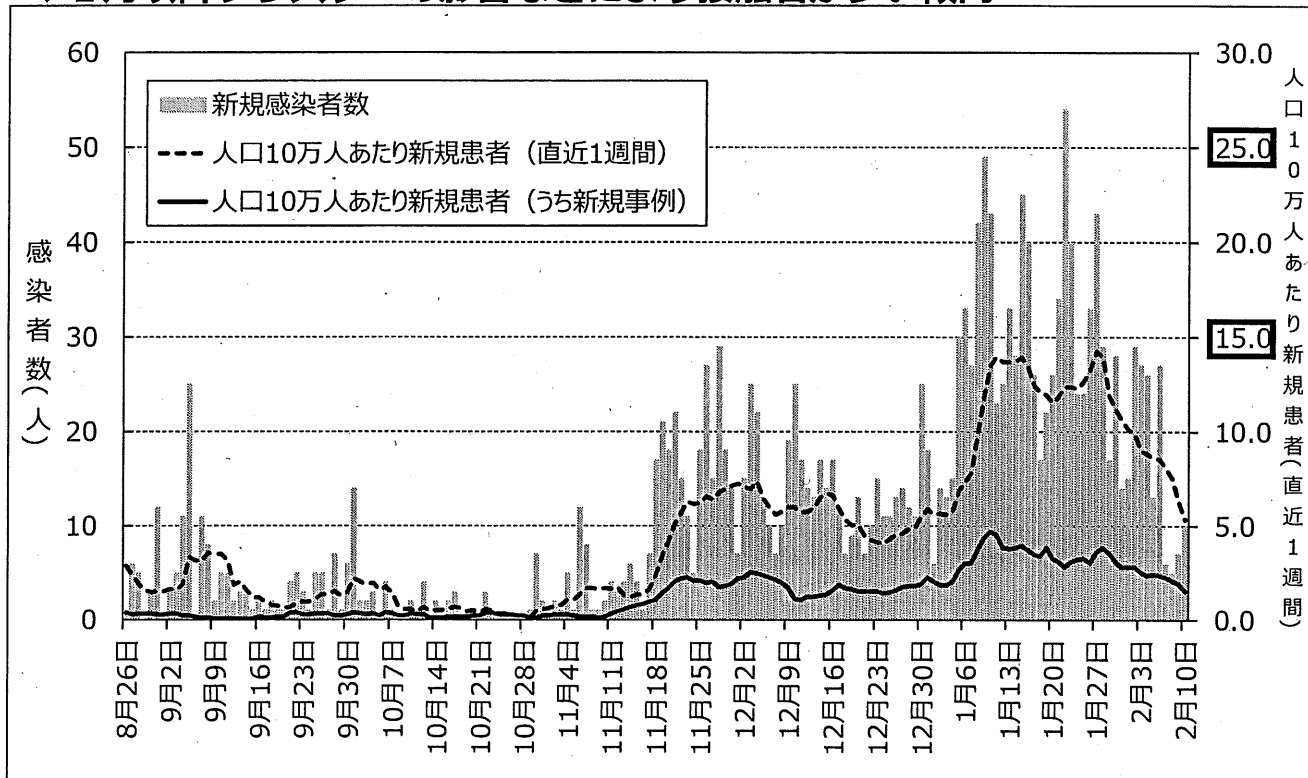
- ◆ 1月に入り 新規感染者数が急増、1月14日に緊急警戒宣言発出
- ◆ 1月中旬以降減少傾向に転じたがクラスターが頻発し高値で推移



2

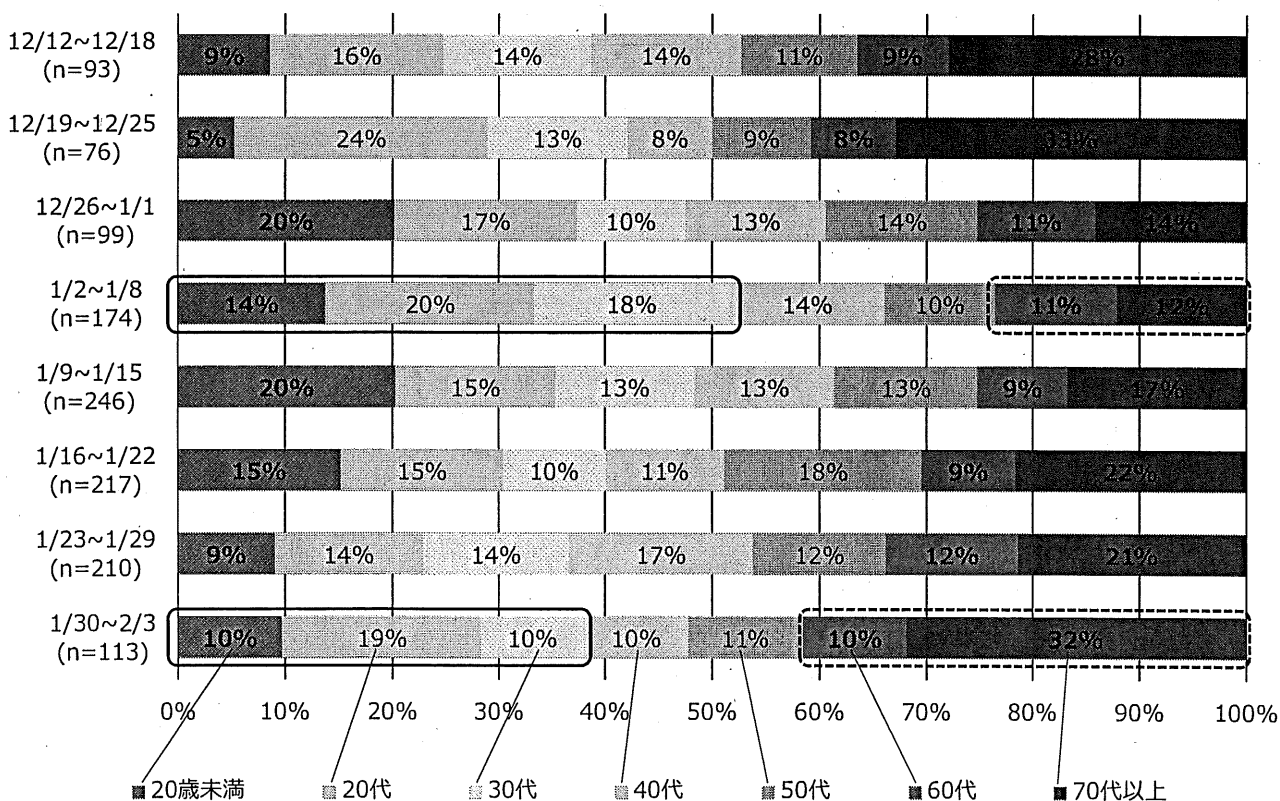
# 県内患者発生状況 (n=2353, R3.2.10時点)

- ◆人口10万人あたり新規患者数は1月下旬以降減少傾向だが依然高い水準
- ◆1月以降クラスターの影響などにより接触者が多い傾向



3

## 年齢別発生状況 (週別内訳)

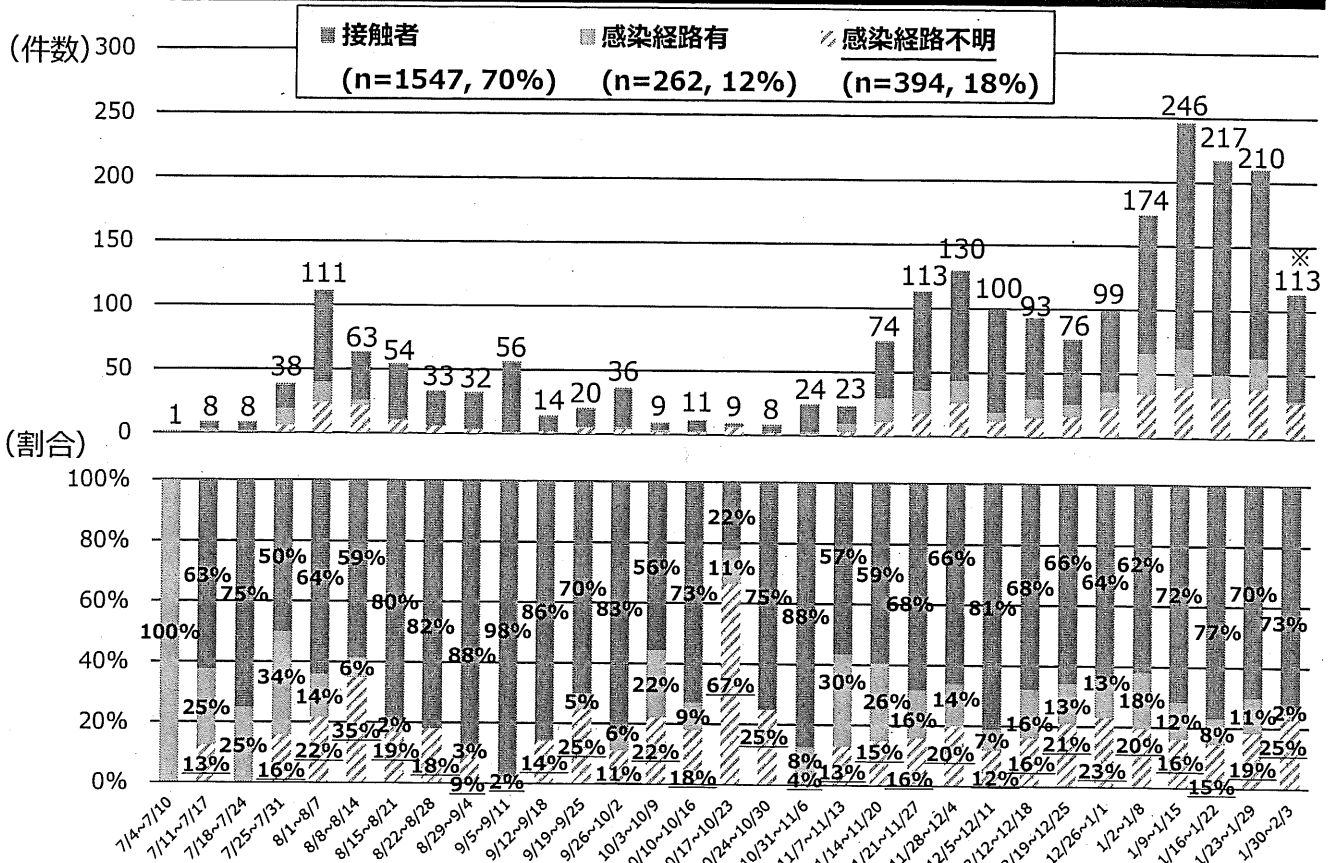


※1/30~2/3は5日間の集計 (他は7日間)

※ 再陽性事例を除く

4

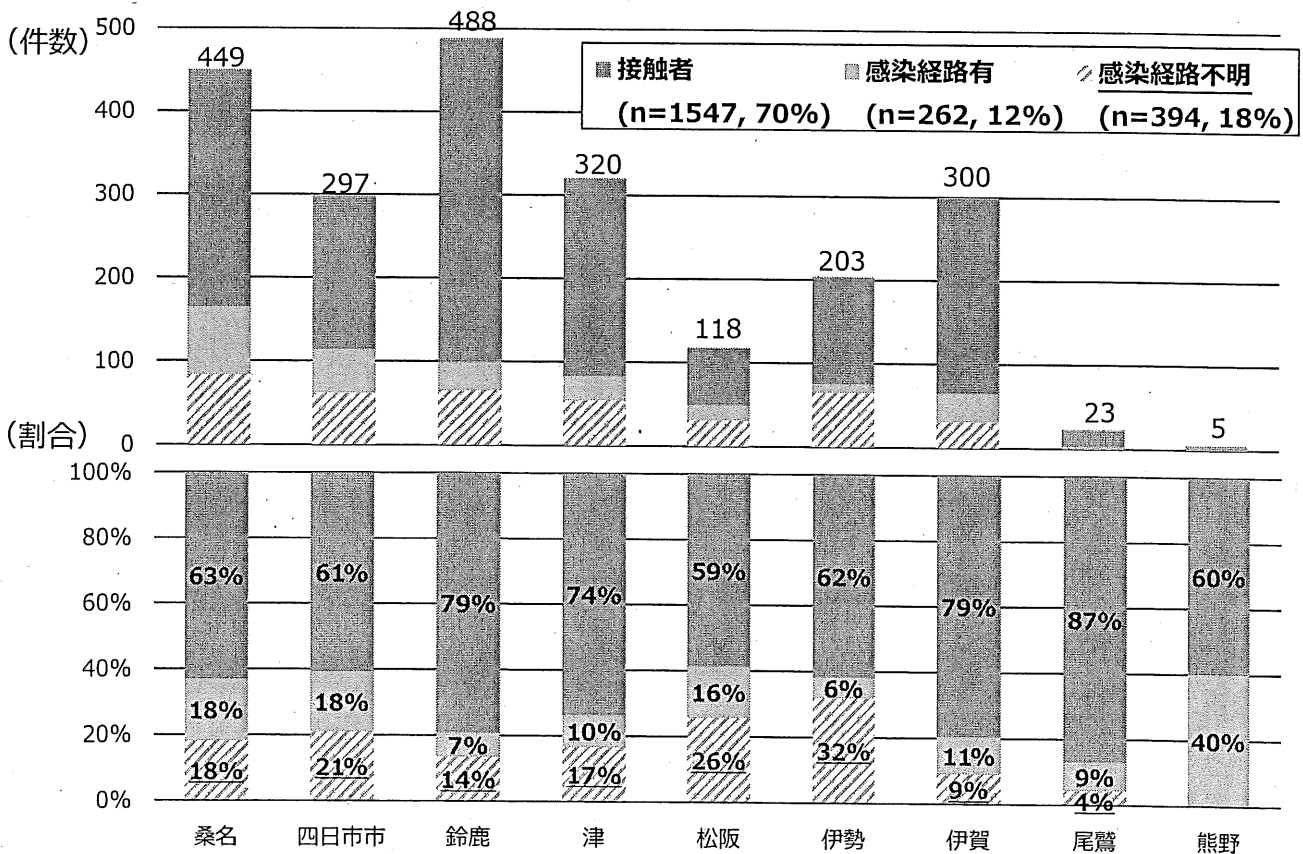
# 感染経路等に関する状況（週別内訳） 集計期間：7/4~2/3(n=2203)



※1/30~2/3は5日間の集計（他は7日間）で速報値

<再陽性事例除く>

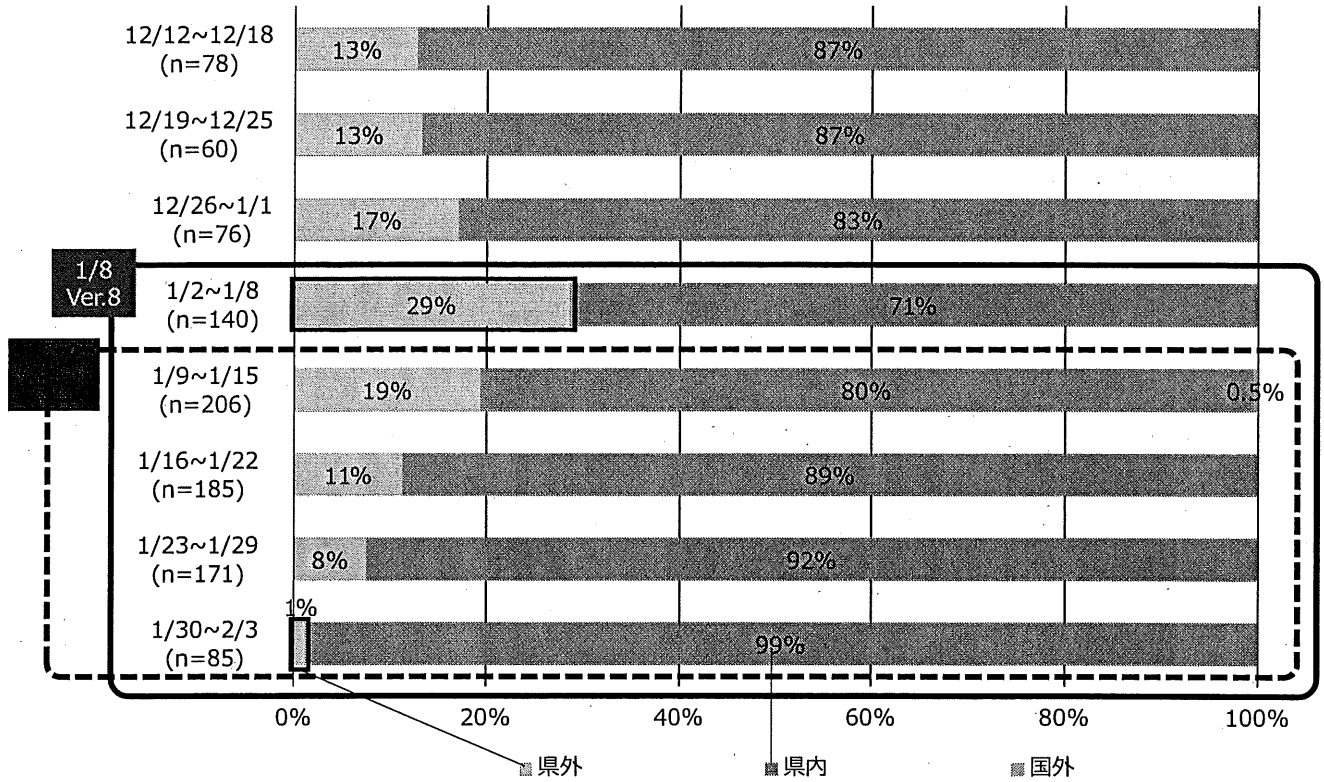
# 感染経路等に関する状況（保健所別内訳） 集計期間：7/4~2/3(n=2203)



※速報値 (1/30~2/3) 含む

# 感染経路の詳細 (週別、経路不明を除く) 集計期間：12/12~2/3(n=1001)

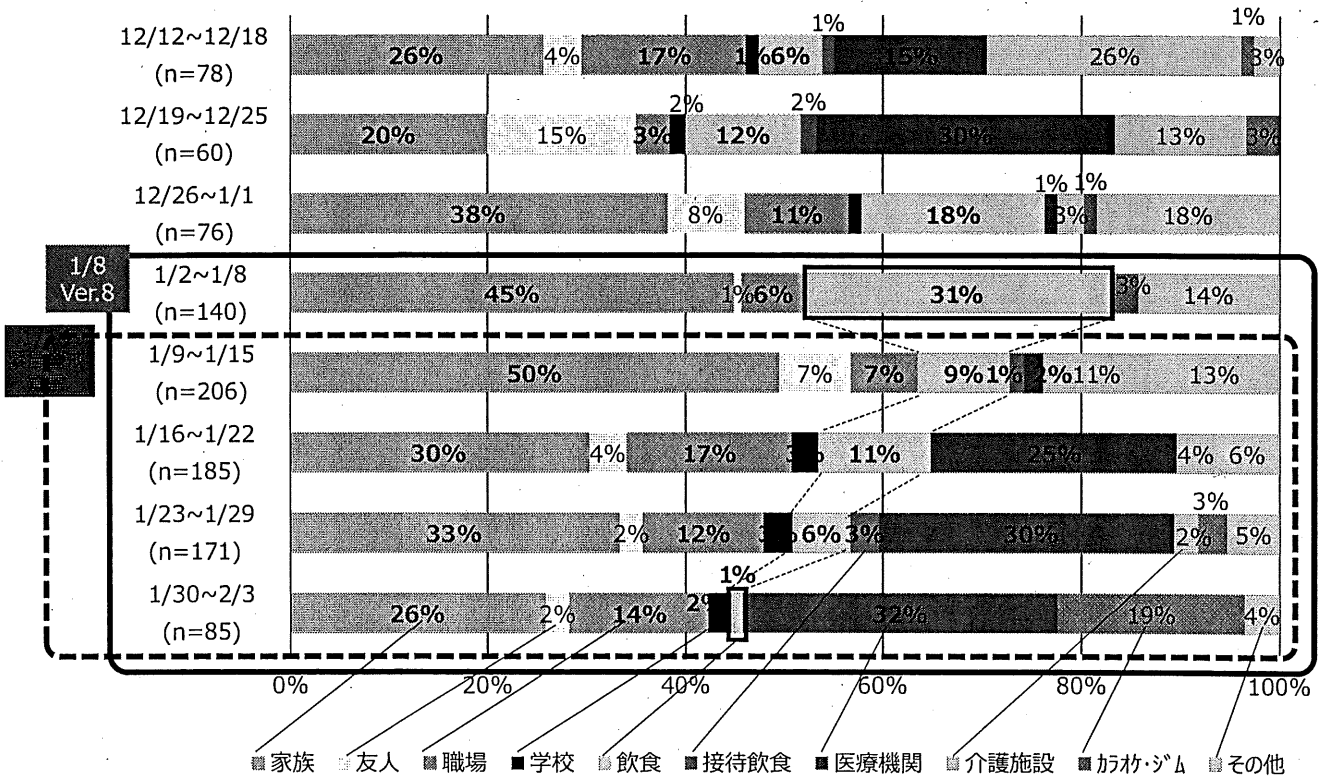
(県内外別)



※1/30~2/3は5日間の集計 (他は7日間) で速報値

# 感染経路の詳細 (週別、経路不明を除く) 集計期間：12/12~2/3(n=1001)

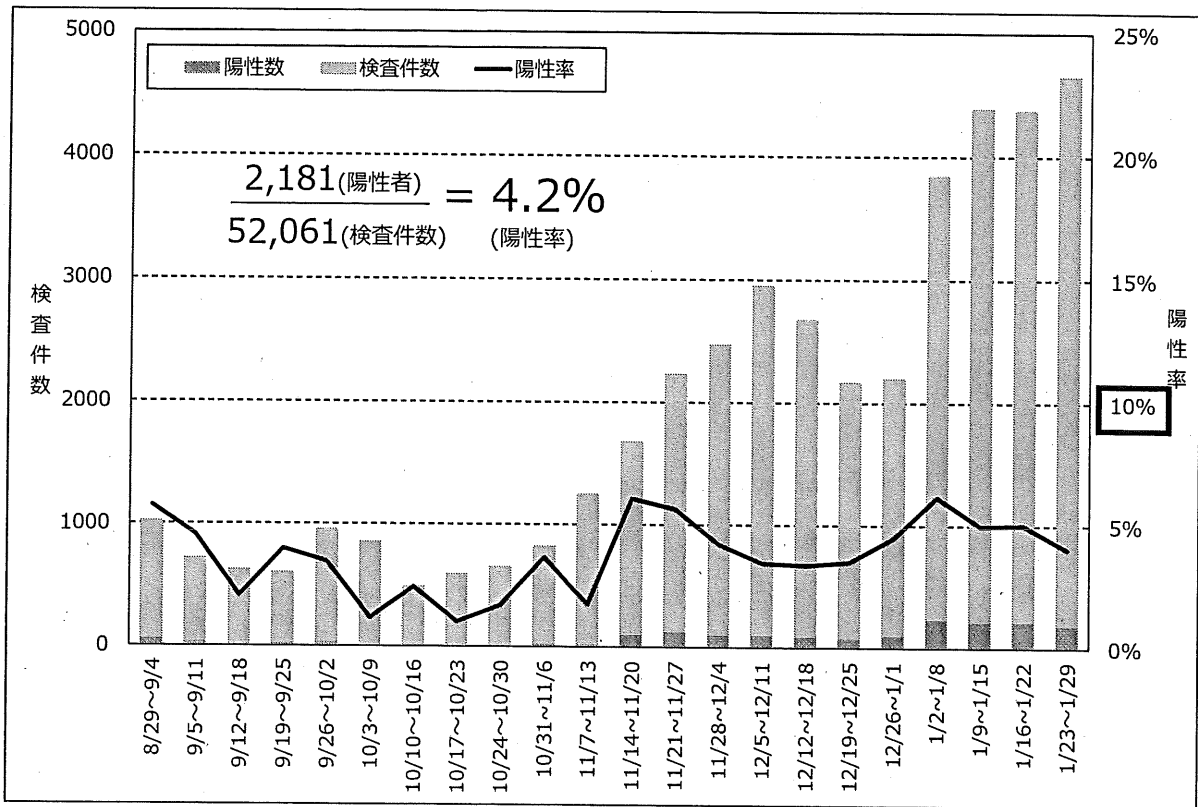
(経路別)



※1/30~2/3は5日間の集計 (他は7日間) で速報値

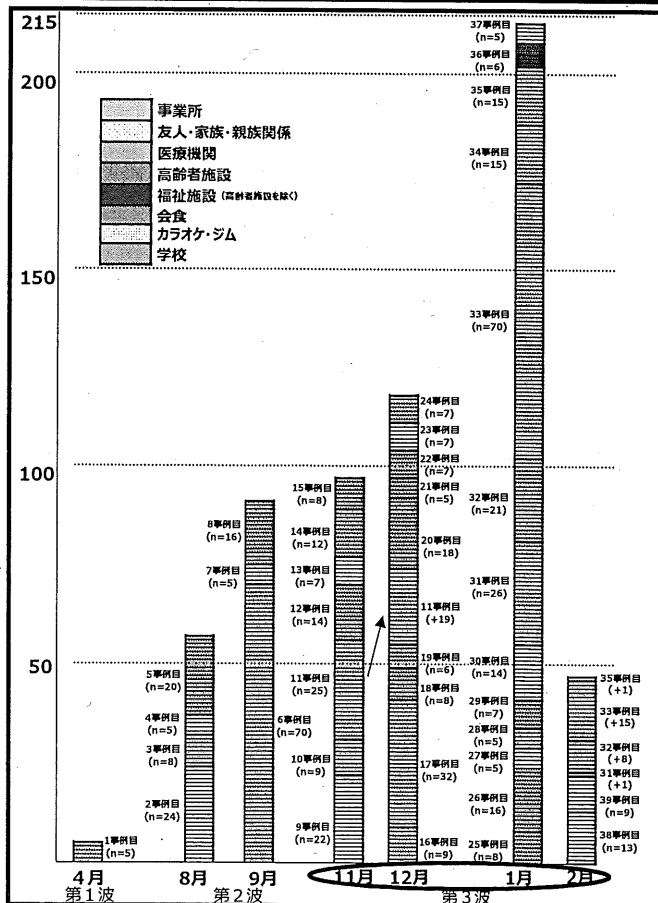
# PCR等検査件数・陽性率 (R3.1.29時点)

◆ 1週間 (1月23日~29日) としては過去最多の4,656件の検査を実施、陽性率は4.0%



9

# クラスター発生状況 (R3.2.9時点)



□ 第1波(4月)で1事例  
第2波(8-9月)で7事例  
第3波(11月~)で31事例  
のクラスターが発生

□ クラスター件数としては、  
高齢者施設(9件)、医療機関(7件)、事業所(7件)、友人・家族・親族(7件)、学校(4件)、カラオケ・ジム(3件)と続くが、入院医療機関において、1クラスターあたりの陽性者が多い傾向

□ 医療機関・高齢者施設でクラスターが発生した際は、県クラスター対策Gを現地に派遣し、外部の有識者(感染管理認定看護師等)の協力を得ながら、疫学調査・感染管理・医療的支援を実施

クラスターの増加が入院医療の負担に

10

# 政府指標の状況

## 今後の感染状況の変化に対応した対策の実施に関する指標及び目安

(政府新型コロナウイルス感染症分科会)

	医療提供体制等の負荷			監視体制 ③検査陽性率	感染の状況		
	①病床のひっ迫具合		②療養者数 ※人口10万人あたりの全療養者数		④新規報告数 ※直近一週間の人口10万人あたりの陽性者数	⑤直近一週間と先週一週の比較	⑥感染経路不明割合
	最大確保病床占有率	最大確保病床占有率 (うち重症者用)					
ステージⅢの指標	20%	20%	15人	10%	15人	1.00倍	50%
ステージⅣの指標	50%	50%	25人	10%	25人	1.00倍	50%
1/14時点 緊急警戒宣言 発出時	59.1%	7.5%	12.81人	6.2% (1/2~8)	13.71人	1.76倍	20.0% (1/2~8)



2/9時点	45.3%	24.5%	11.74人	4.0% (1/23~29)	6.26人	0.63倍	18.6% (1/23~29)
1/14時点との差	↘13.8%	↗17.0%	↘1.07人	↘2.2%	↘7.45人	↘1.13倍	↘1.4%

ステージⅢ…感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階

ステージⅣ…爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階

※確保病床占有率は確保病床にかかる入院者数で算出 ※検査陽性率は厚生労働省の認めるすべての検査法を含め算出

11

## 最近の感染状況等

- ・新規感染者数は減少傾向だがクラスターが頻繁に発生するなどにより高値で推移
- ・人口10万人あたりの新規陽性者数（直近1週間）は1月下旬以降減少に転じたが、直近で8.8人と11~12月時点と比べても依然高い水準
- ・地域別では1月下旬以降クラスターの影響などで特に鈴鹿、伊勢保健所管内で多く発生
- ・年齢階級別では、30歳代以下の割合が減少傾向となる一方、60歳代以上の割合が増加傾向
- ・感染経路不明は20%前後で推移
- ・県内外由来は、県外割合が年始のピーク（約3割）以降減少
- ・感染経路は飲食の場面で感染したと推定される事例は大幅に減少する一方、クラスターの影響により医療機関、カラオケで感染したと推定される事例が増加
- ・PCR等検査は1月に入り急増、直近週では4,656件で前週に続き週当たり最多を更新、陽性率は5%前後で推移
- ・1月以降でクラスターが15事例（医療機関3、事業所3、カラオケ3、高齢者施設2、友人家族等2他）と多数発生
- ・クラスターの影響等により入院医療への負荷が継続しており、確保病床占有率は50%を下回ったものの高値で推移、重症者用病床占有率が増加傾向

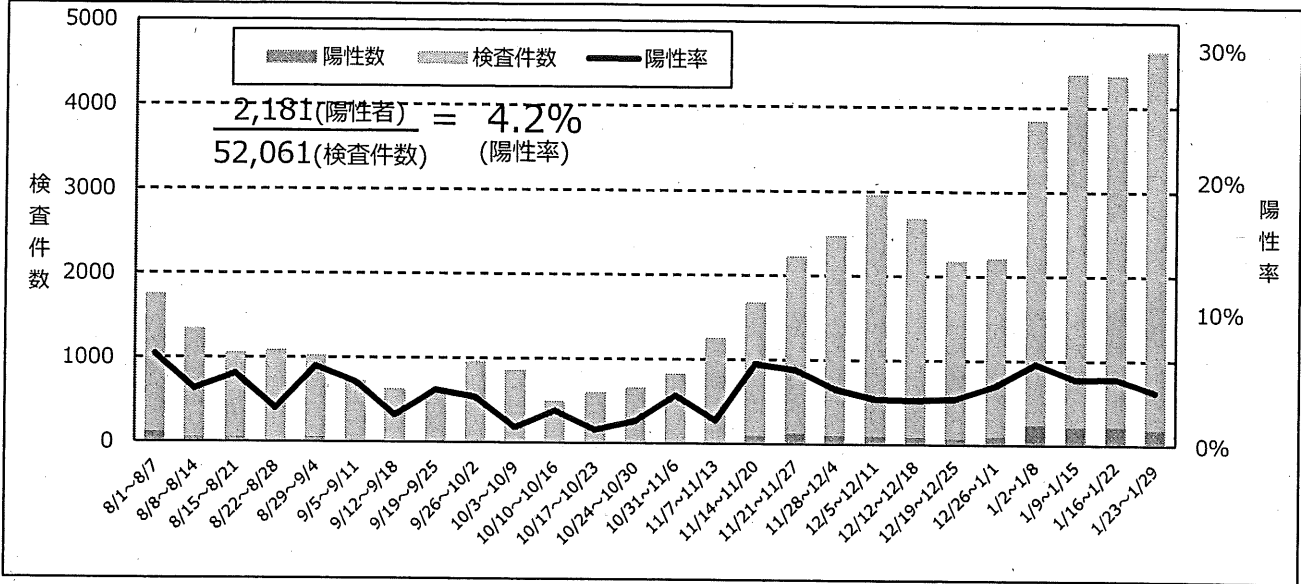
12

# 県内PCR等検査陽性率

(R3.1.29時点 n=52,061)

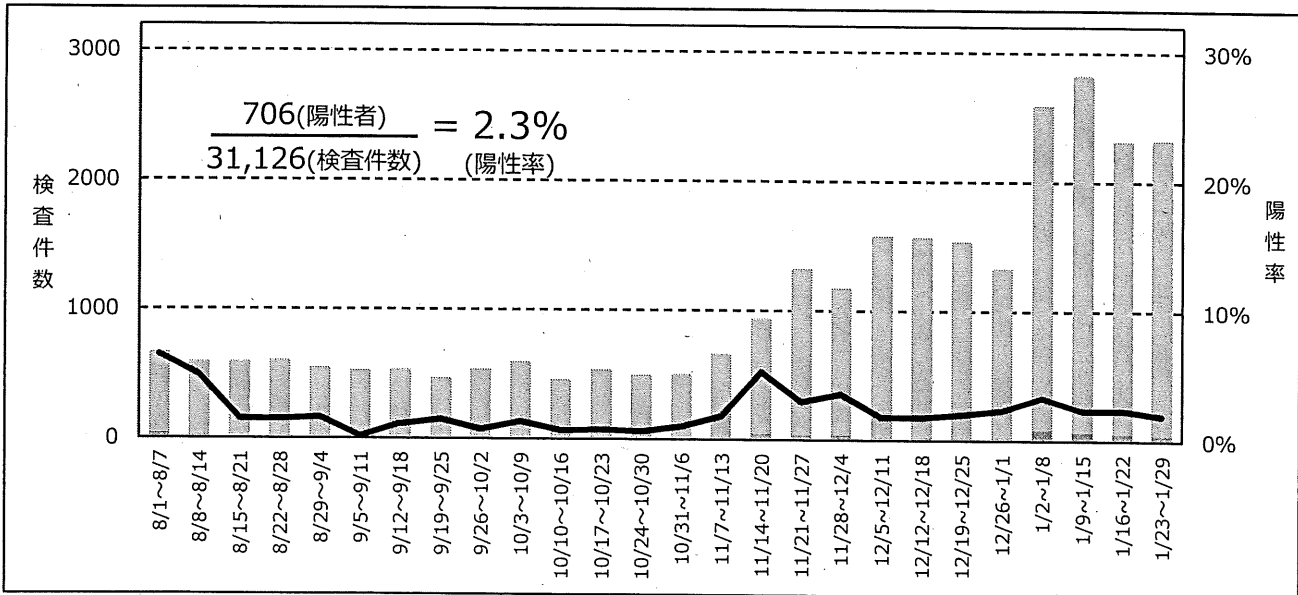
全体陽性率 (n= 52,061)

※陰性確認のための検査を除く



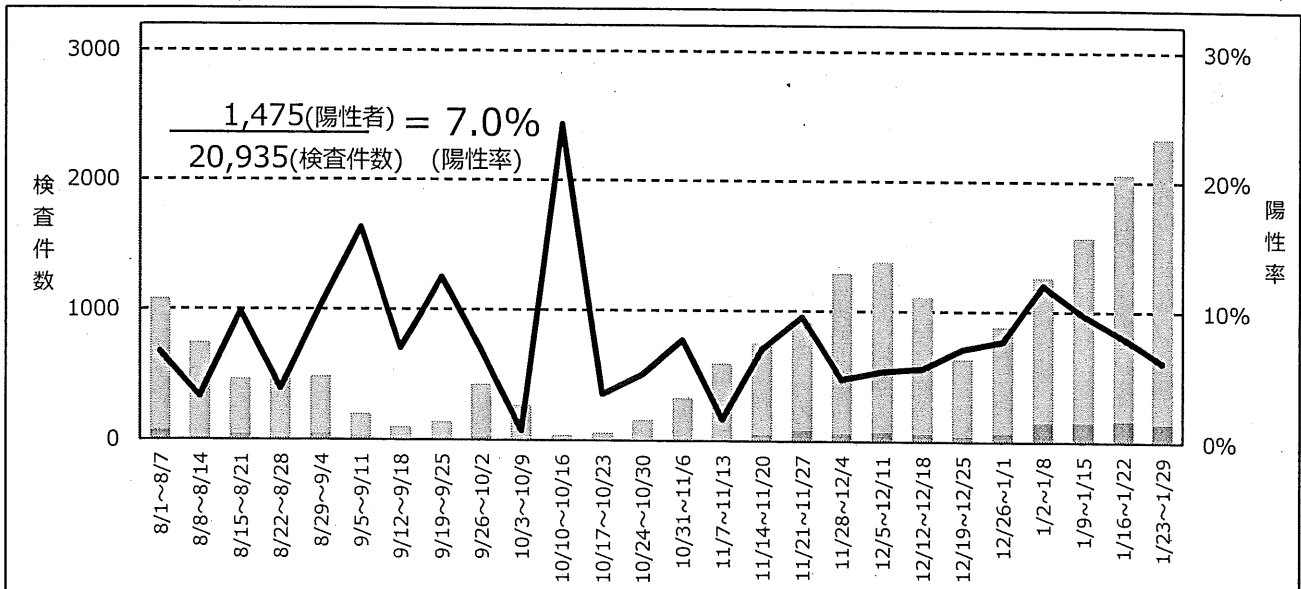
疑い例検査陽性率 (n=31,126)

※疑い例検査…疑い例として診断され、実施した検査



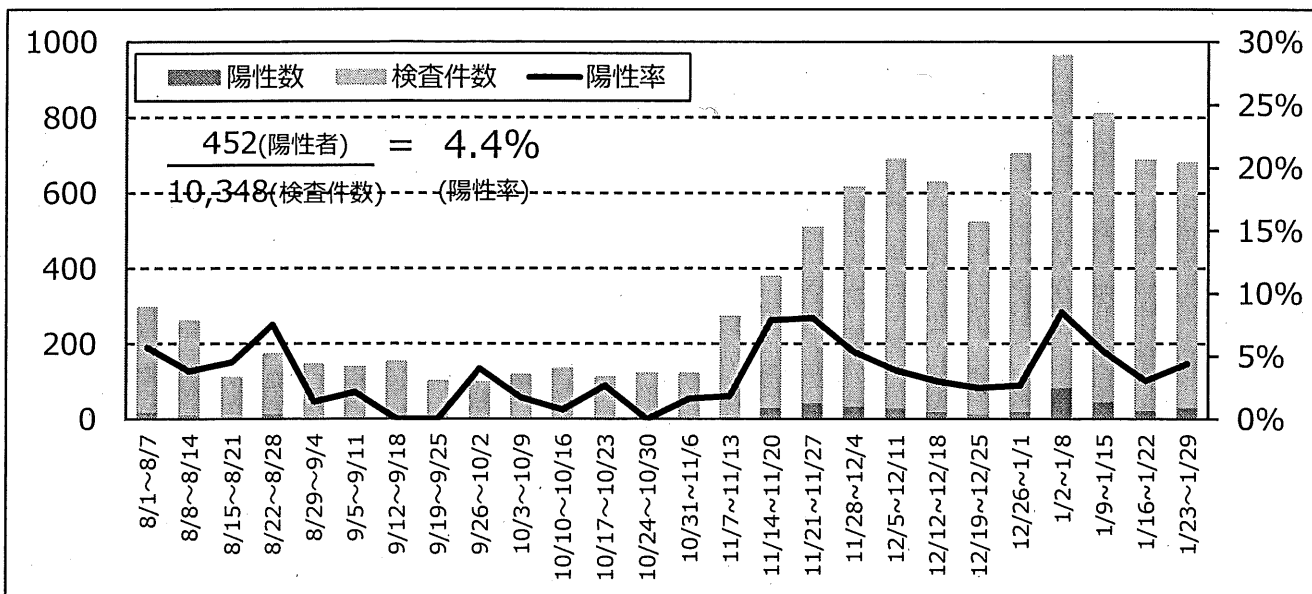
接触者検査陽性率 (n= 20,935)

※接触者検査…接触者調査の一環で実施した検査

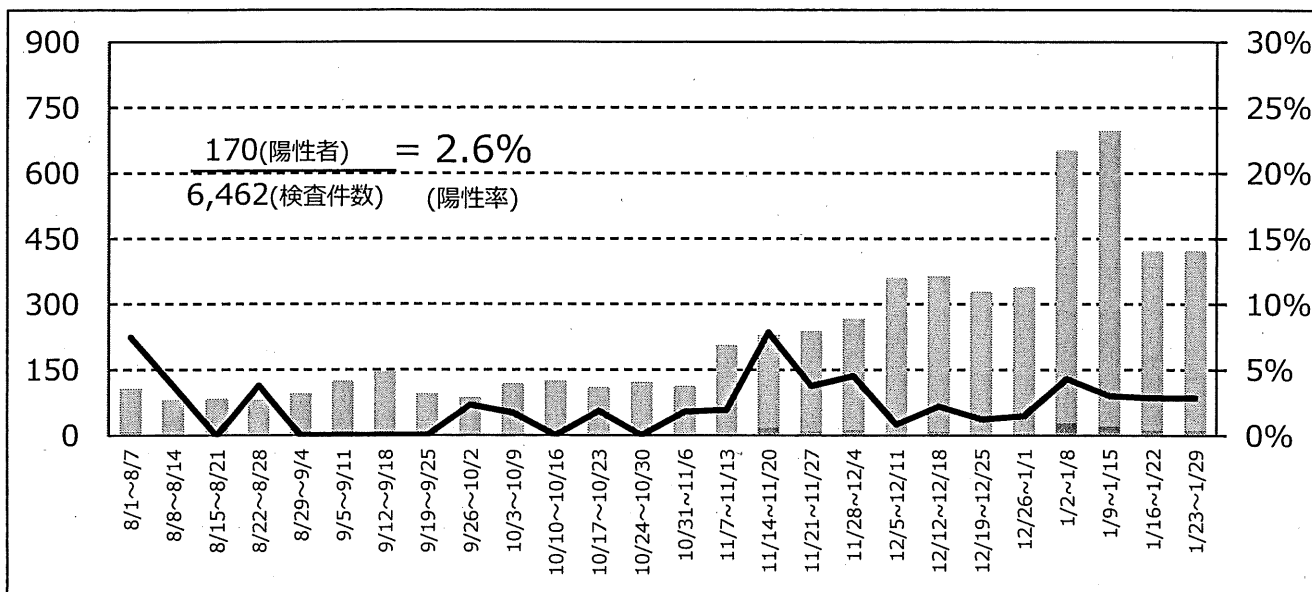


# 桑名保健所管内陽性率 (n=10,348)

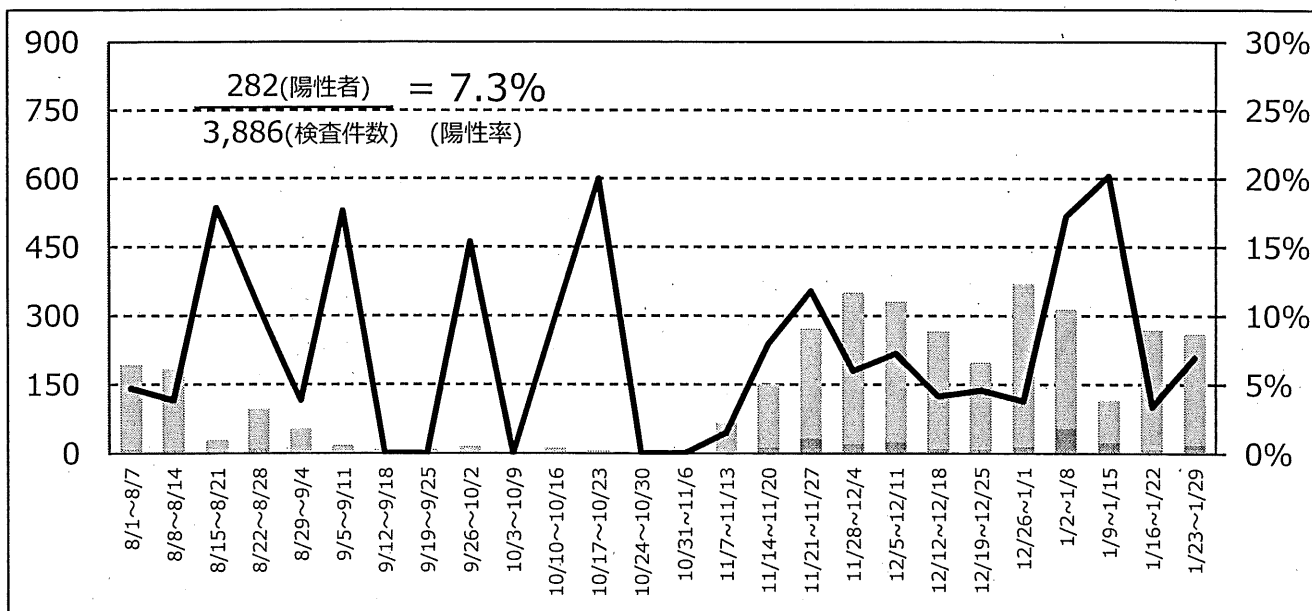
全体陽性率(n=10,348)



疑い例検査陽性率 (n= 6,462)



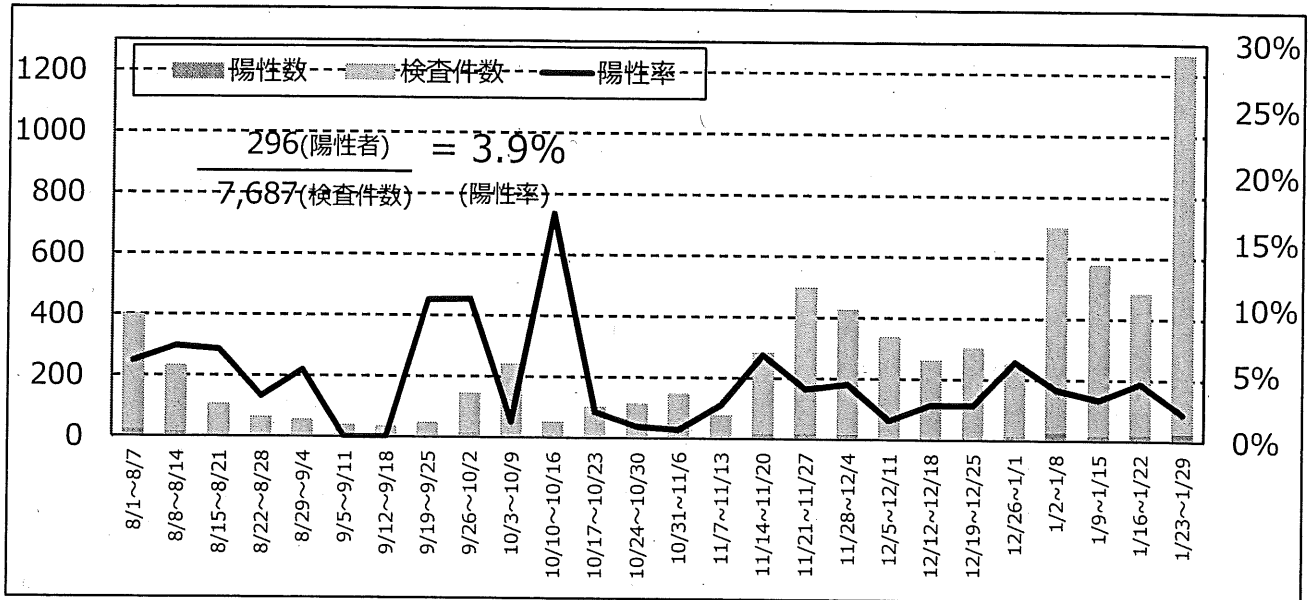
接触者検査陽性率 (n= 3,886)



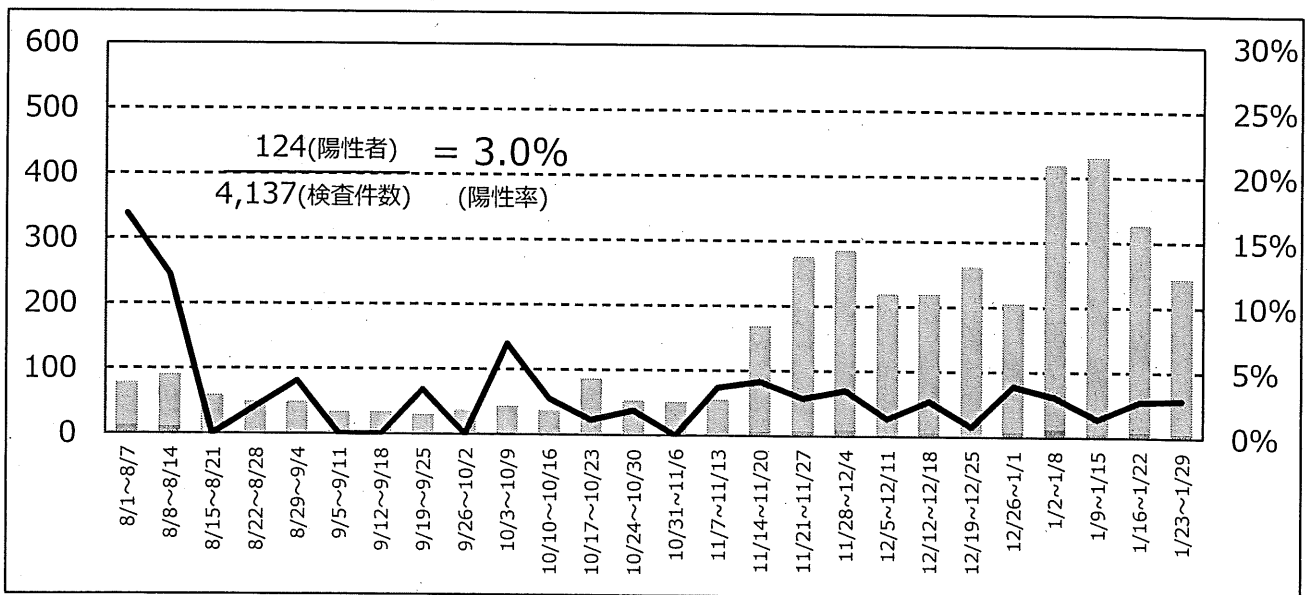


# 四日市市保健所管内陽性率 (n=7,687)

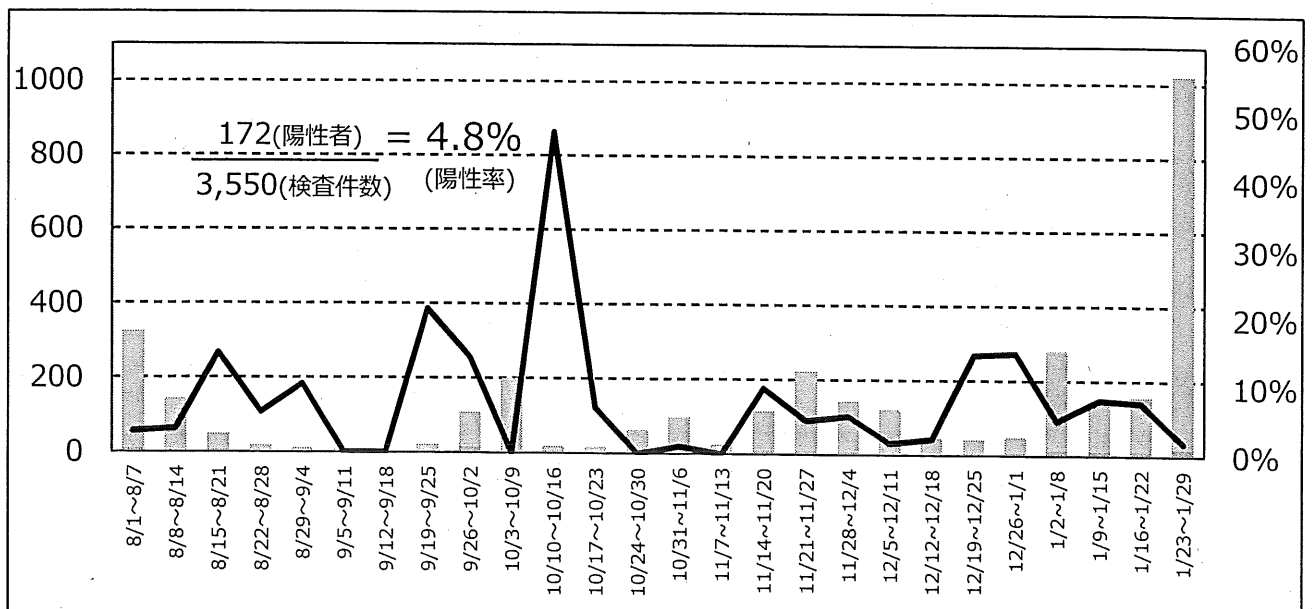
全体陽性率 (n= 7,687)



疑い例検査陽性率 (n= 4,137)

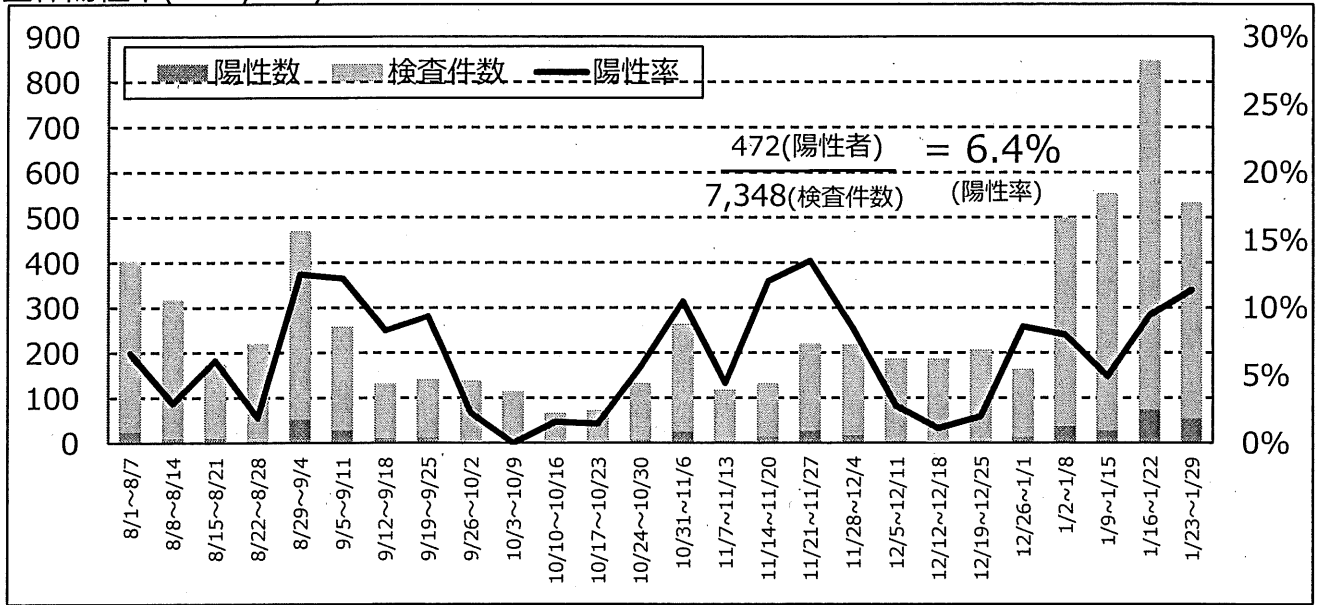


接触者検査陽性率 (n= 3,550)

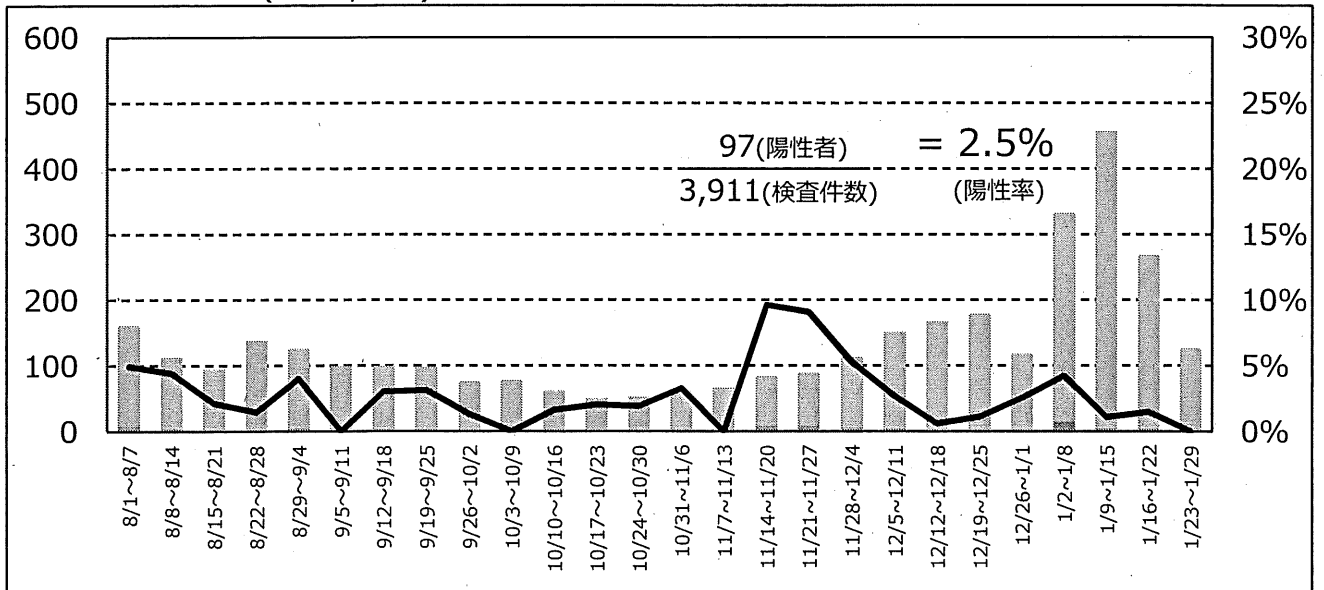


# 鈴鹿保健所管内陽性率 (n=7,348)

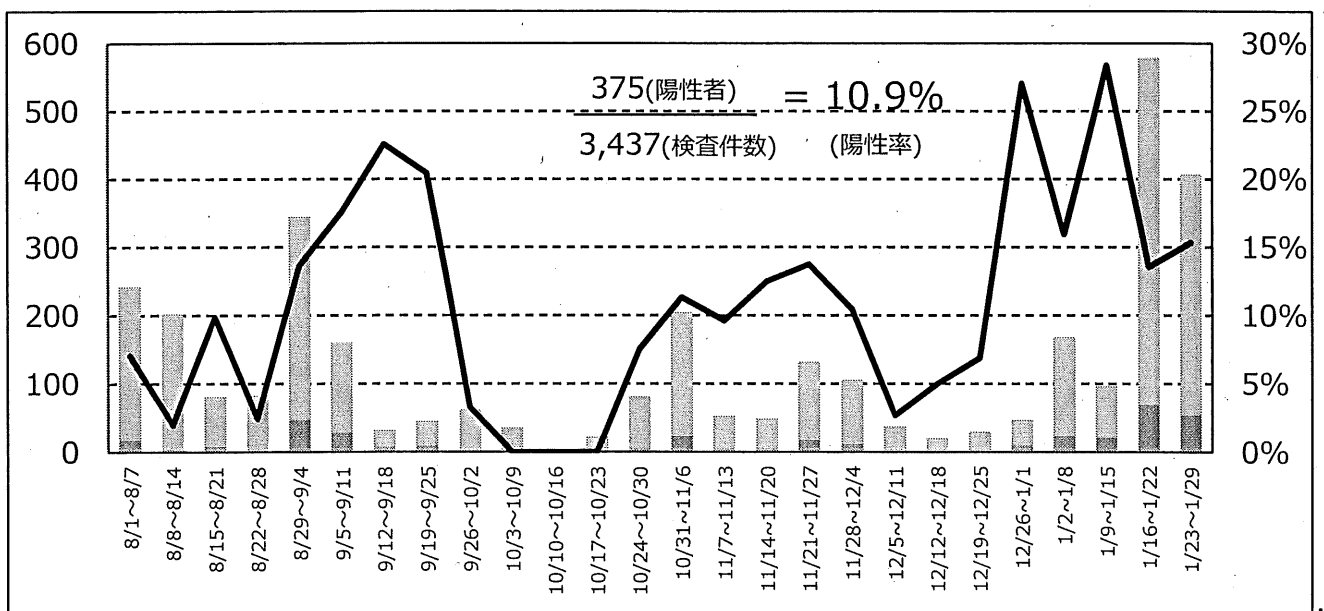
全体陽性率(n=7,348)



疑い例検査陽性率 (n= 3,911)

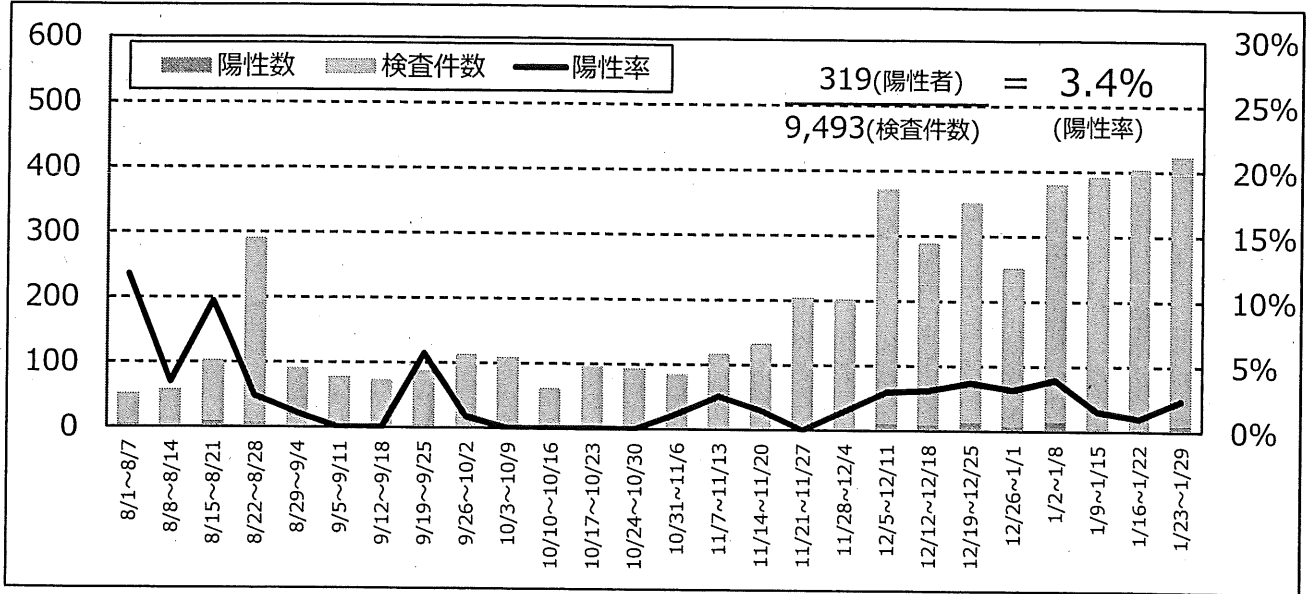


接触者検査陽性率 (n= 3,437)

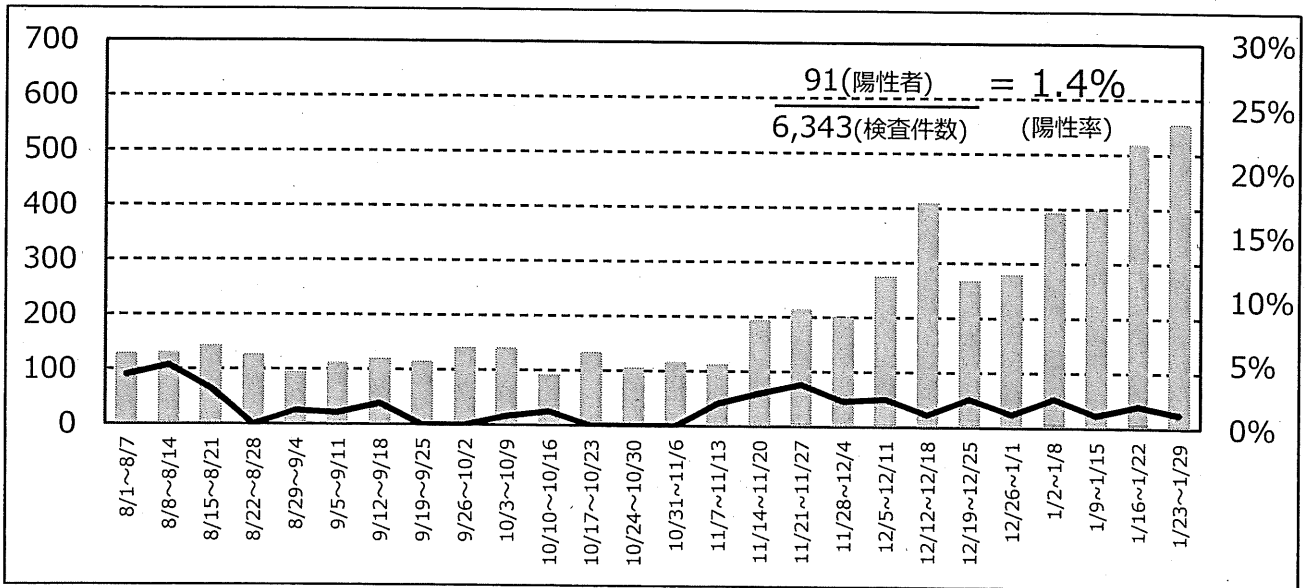


# 津保健所管内陽性率 (n=9,493)

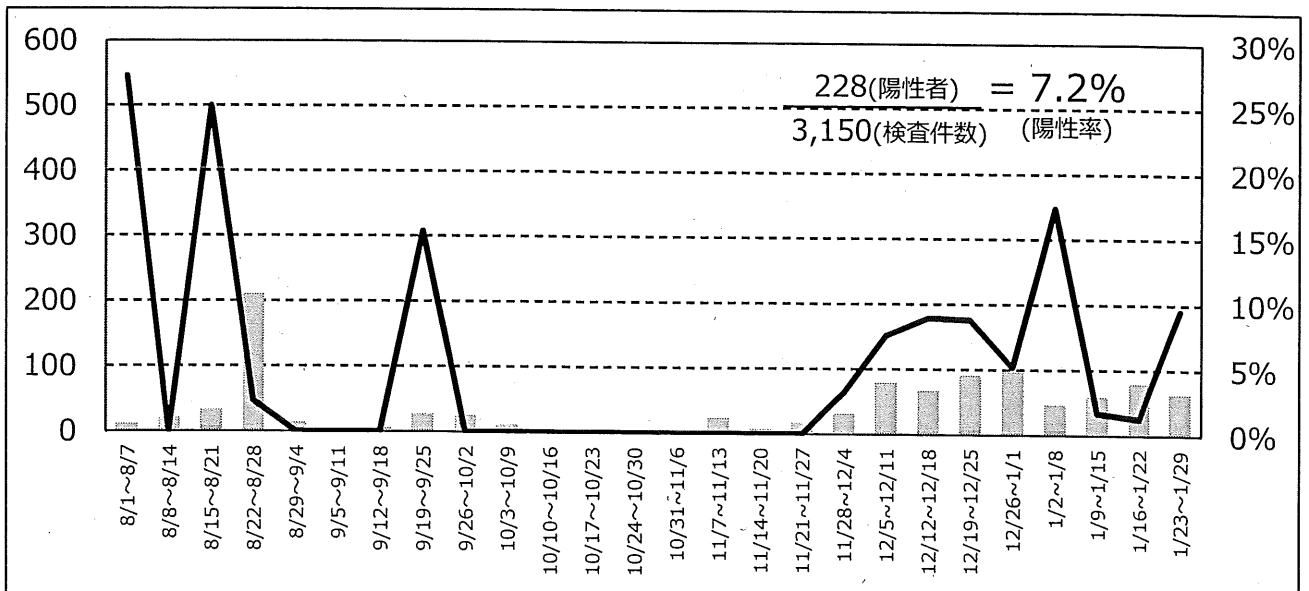
全体陽性率(n=9,493)



疑い例検査陽性率 (n= 6,343)

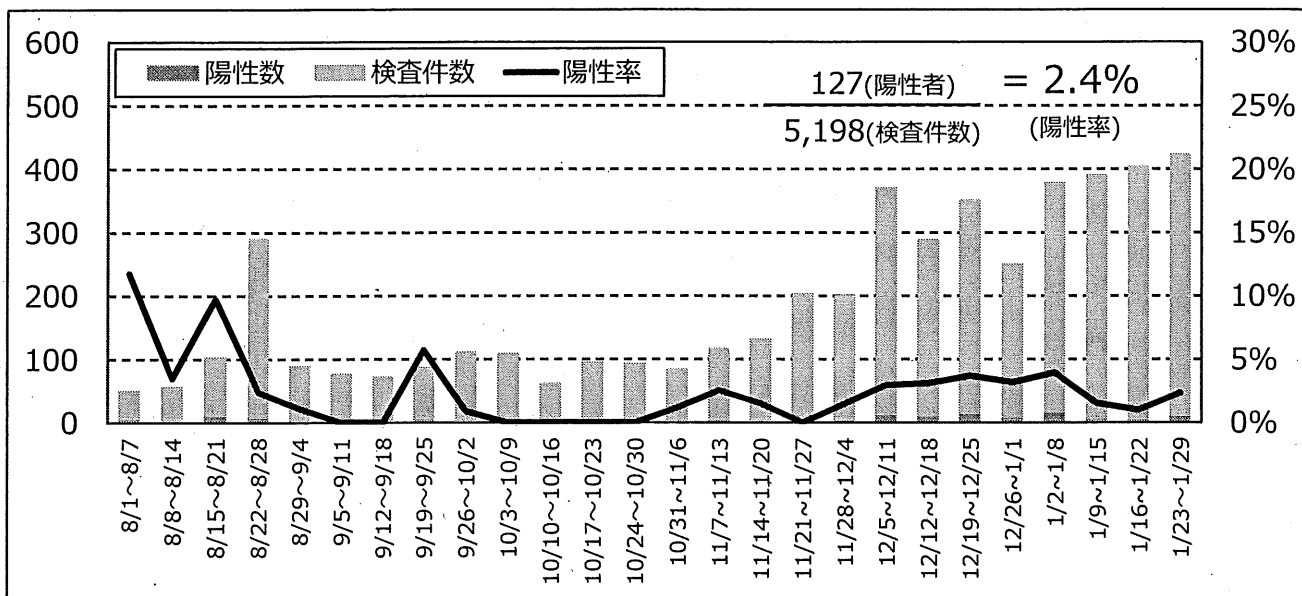


接触者検査陽性率 (n= 3,150)

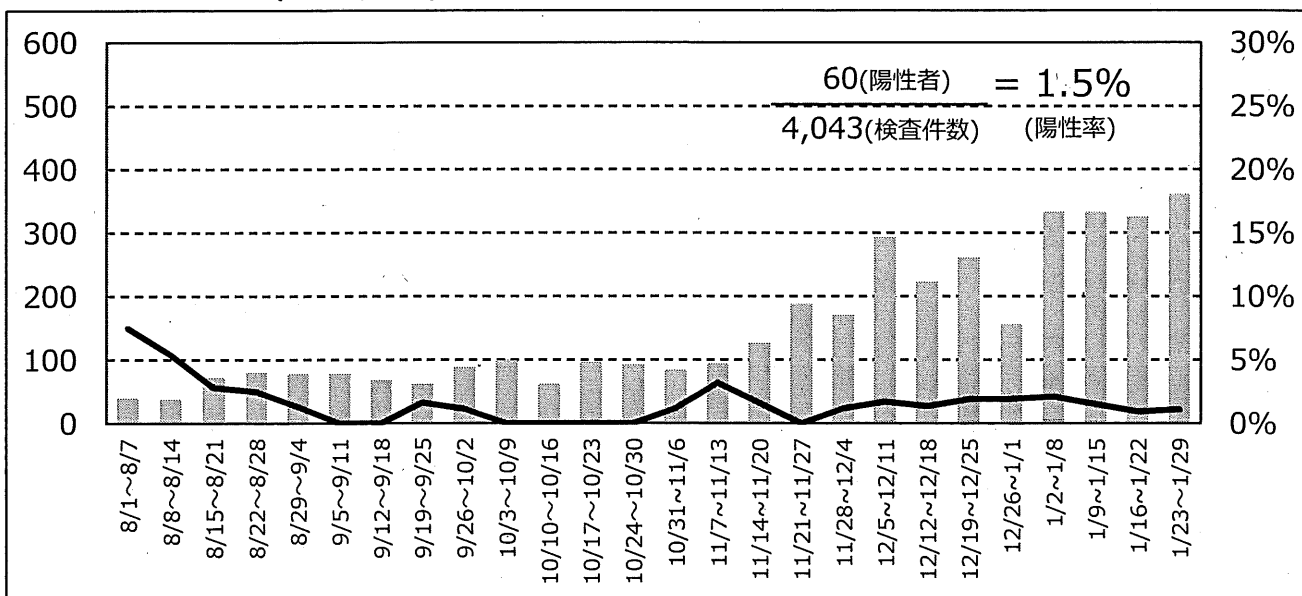


# 松阪保健所管内陽性率 (n=5,198)

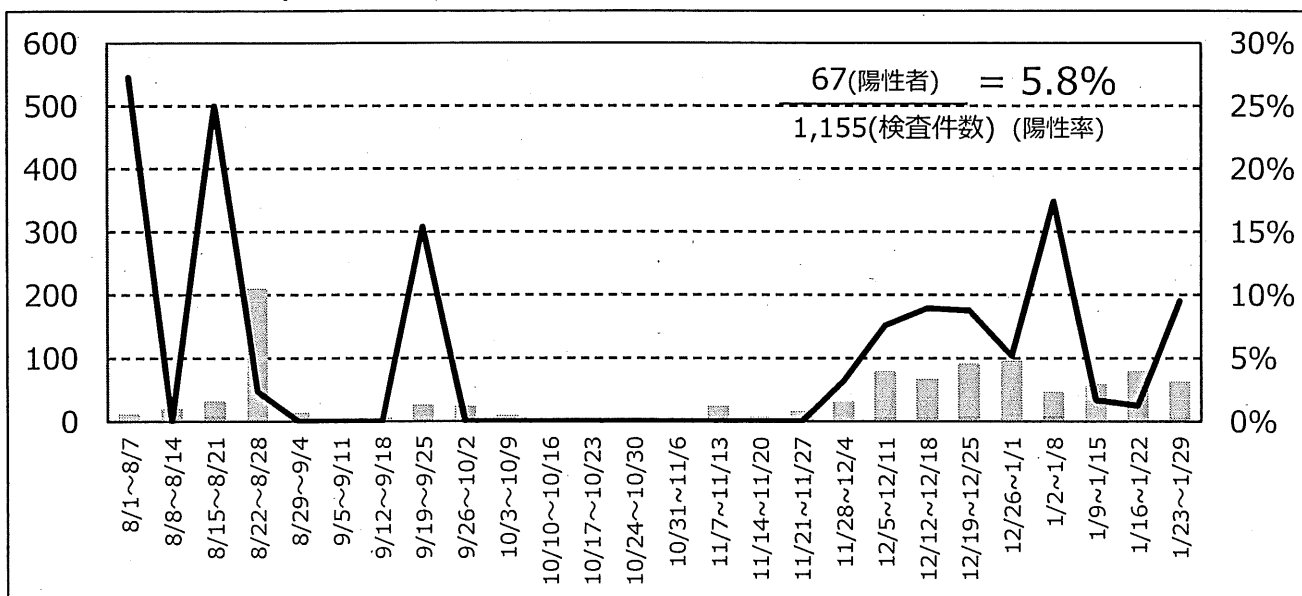
全体陽性率 (n=5,198)



疑い例検査陽性率 (n= 4,043)

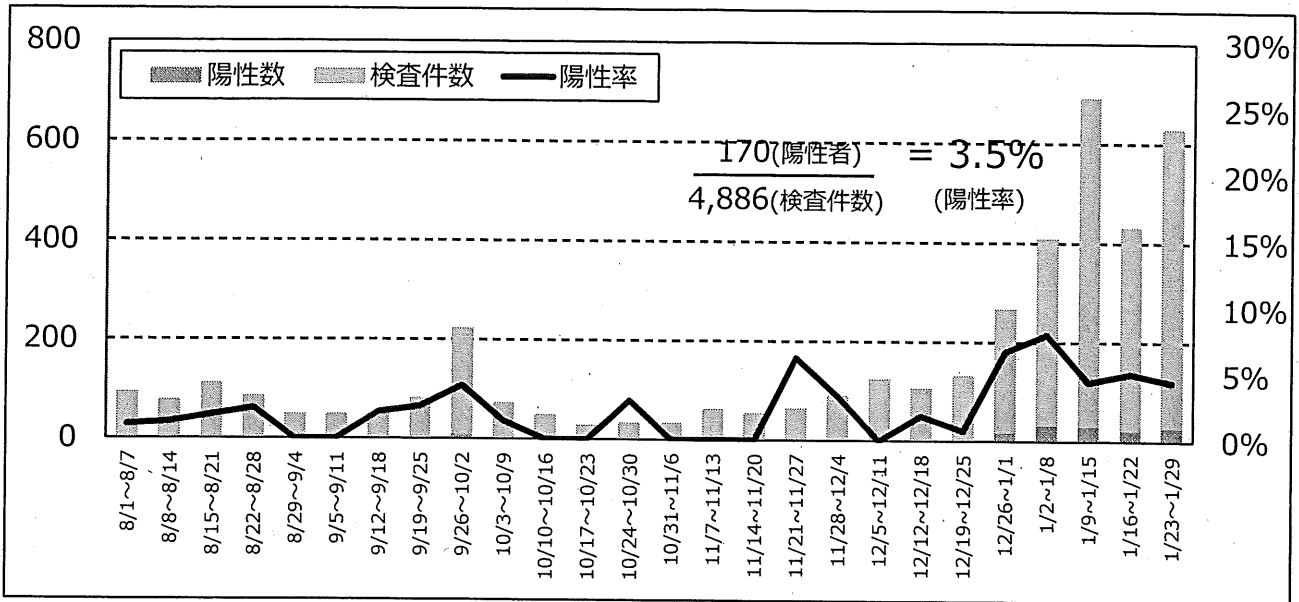


接触者検査陽性率 (n= 1,155)

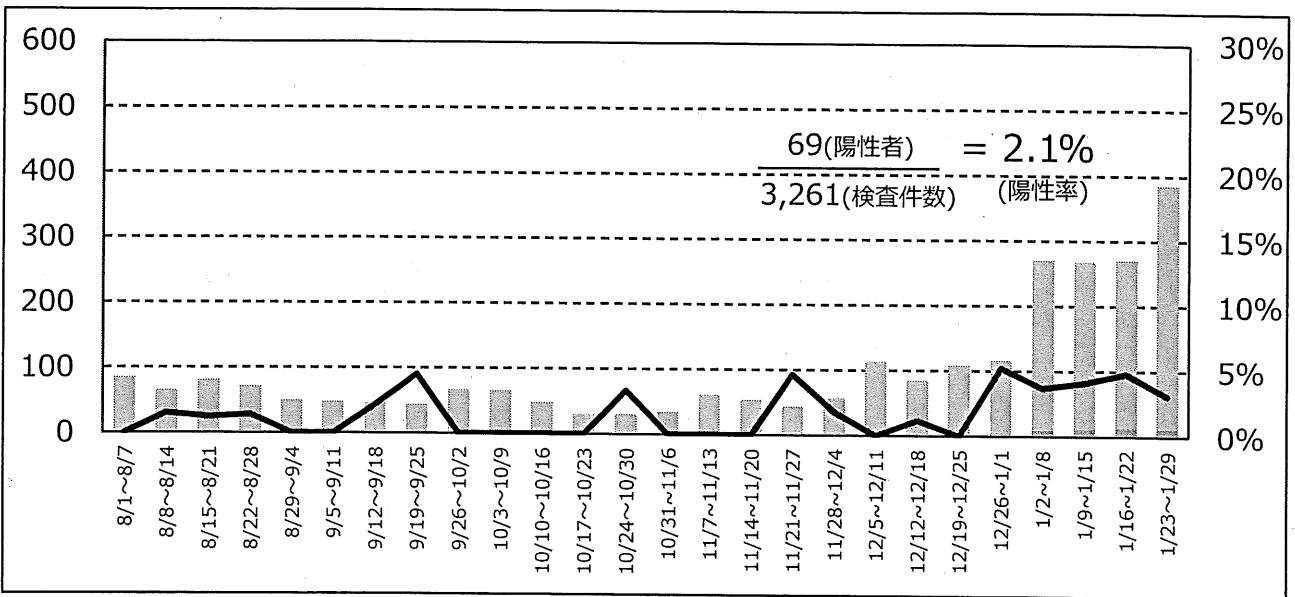


# 伊勢保健所管内陽性率 (n=4,886)

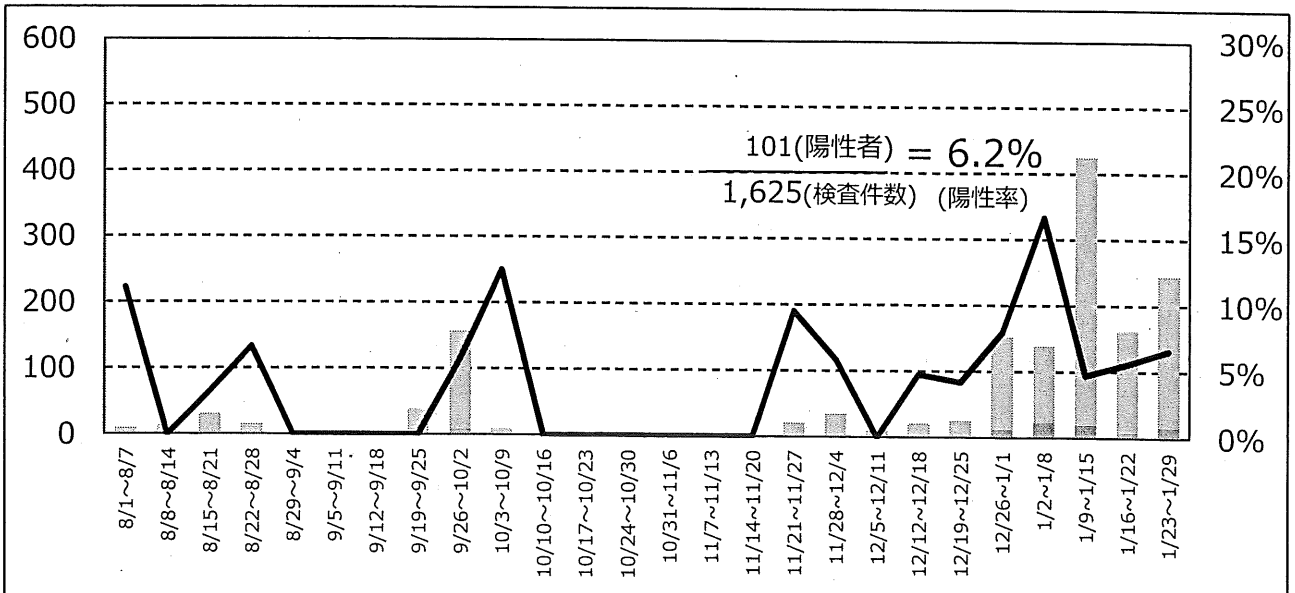
全体陽性率(n=4,886)



疑い例検査陽性率 (n=3,261)

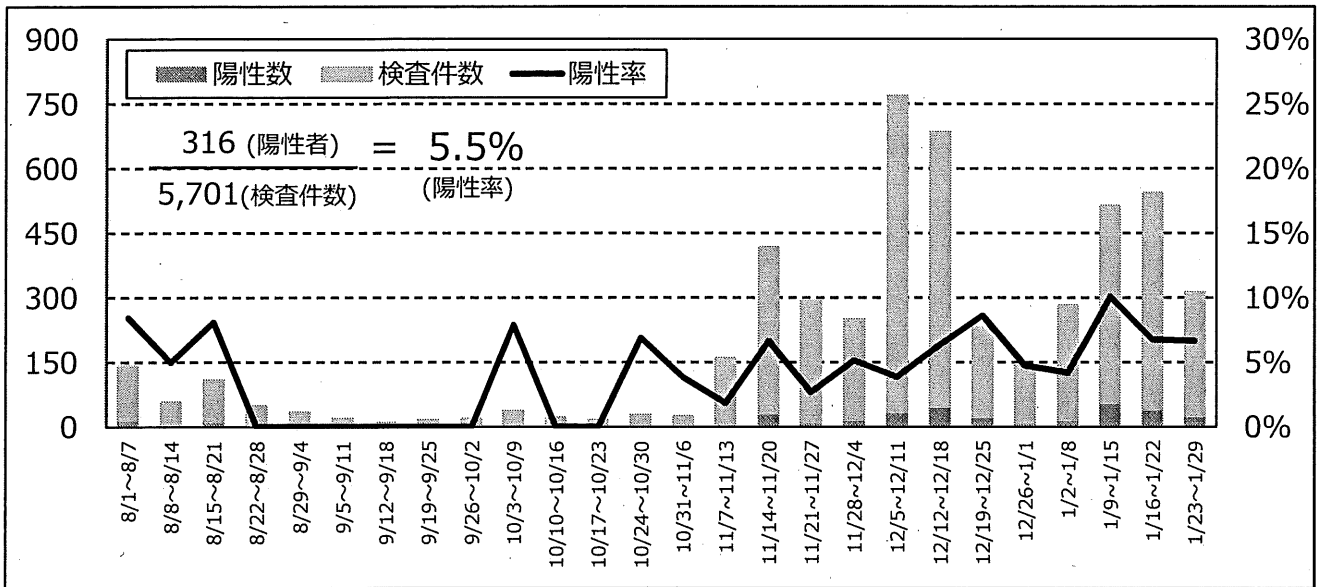


接触者検査陽性率 (n=1,625)

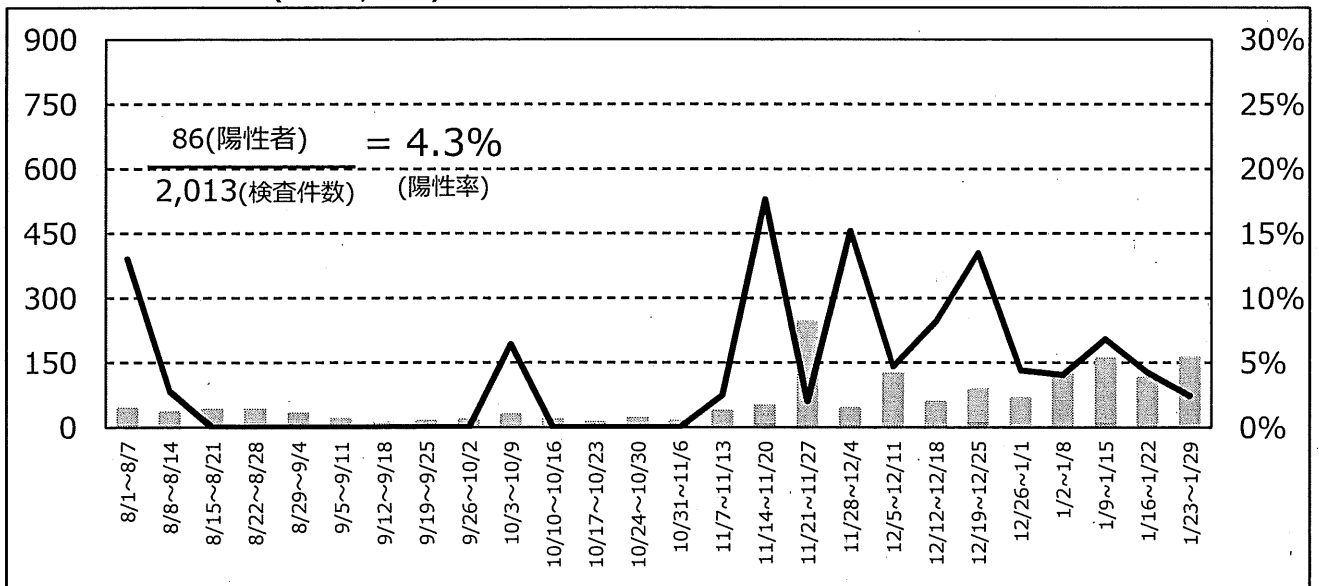


# 伊賀保健所管内陽性率 (n=5,701)

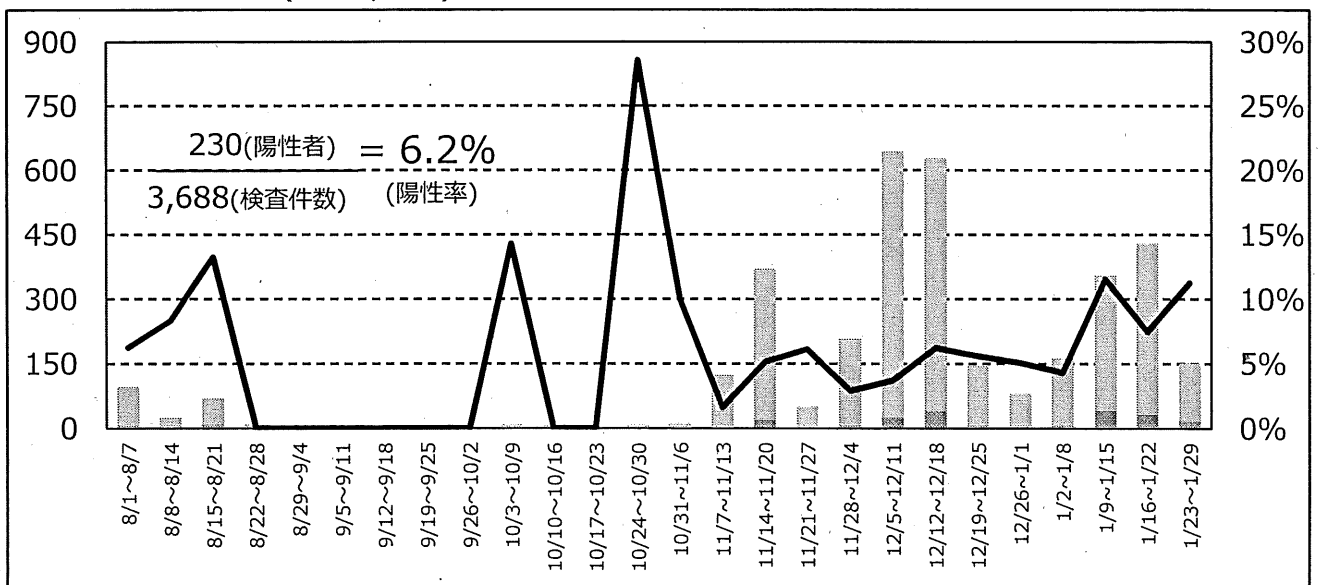
全体陽性率(n=5,701)



疑い例検査陽性率 (n= 2,013)

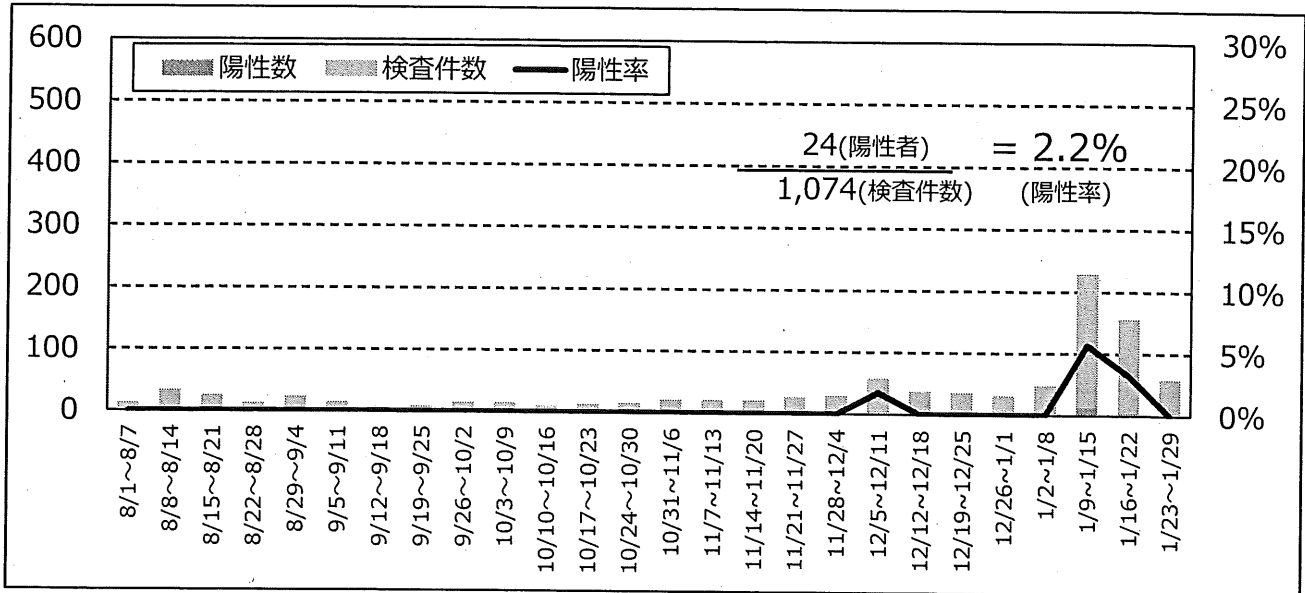


接触者検査陽性率 (n= 3,688)

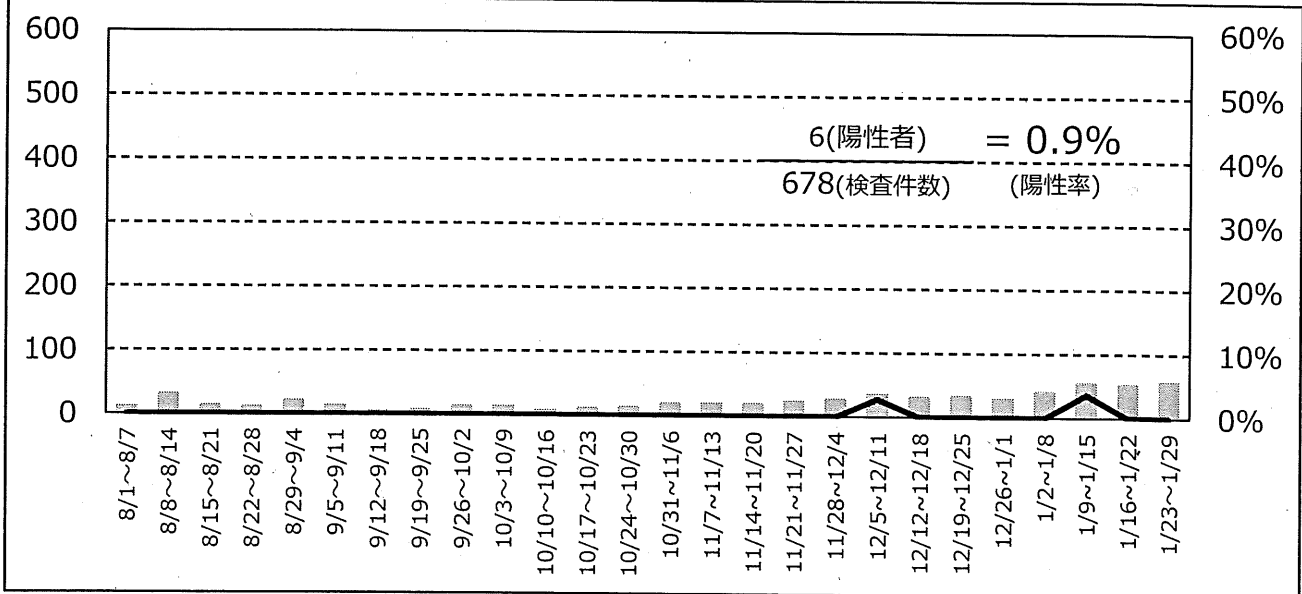


# 尾鷲保健所管内陽性率 (n=1,074)

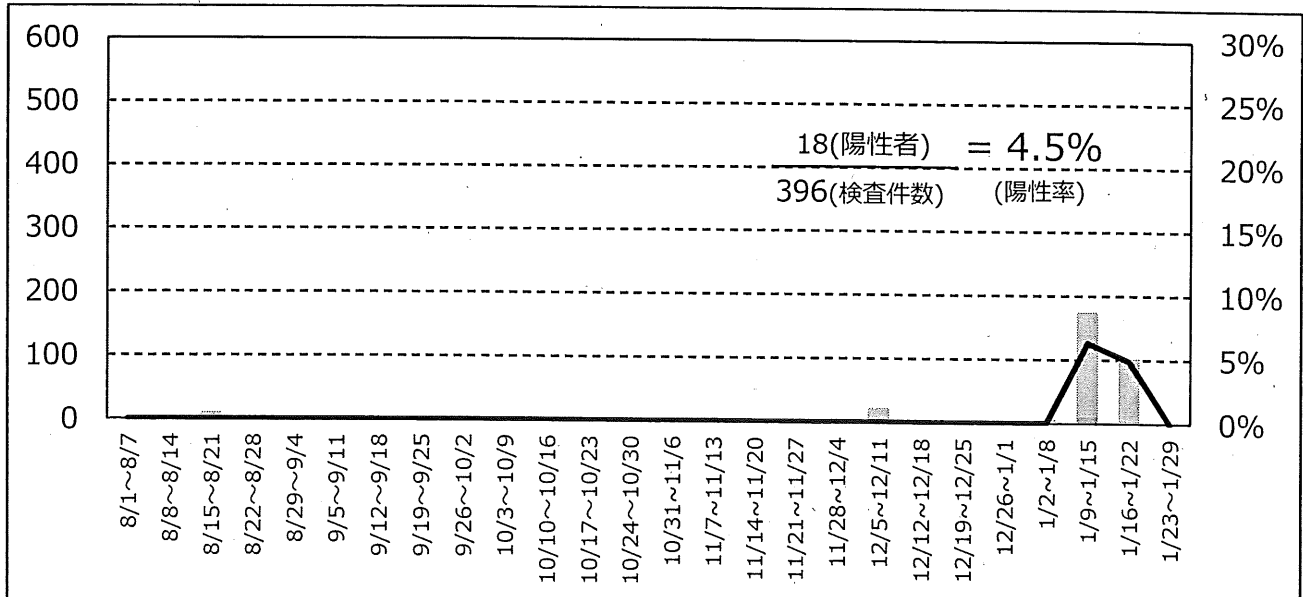
全体陽性率 (n=1,074)



疑似例検査陽性率 (n= 678)

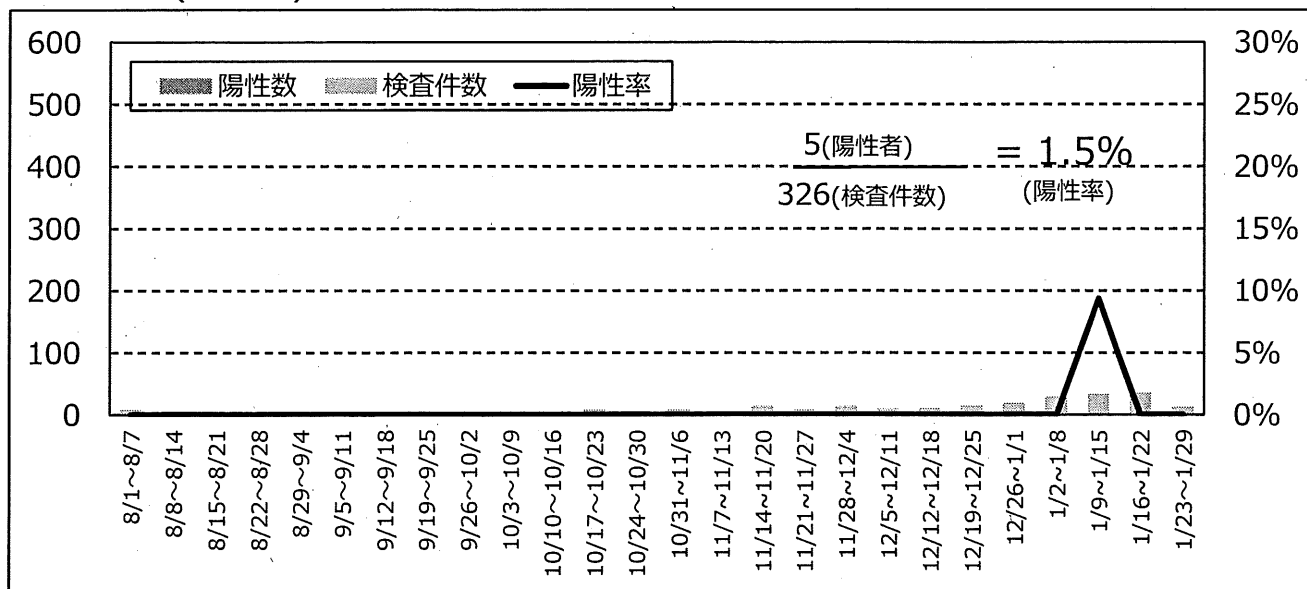


接触者検査陽性率 (n=396)

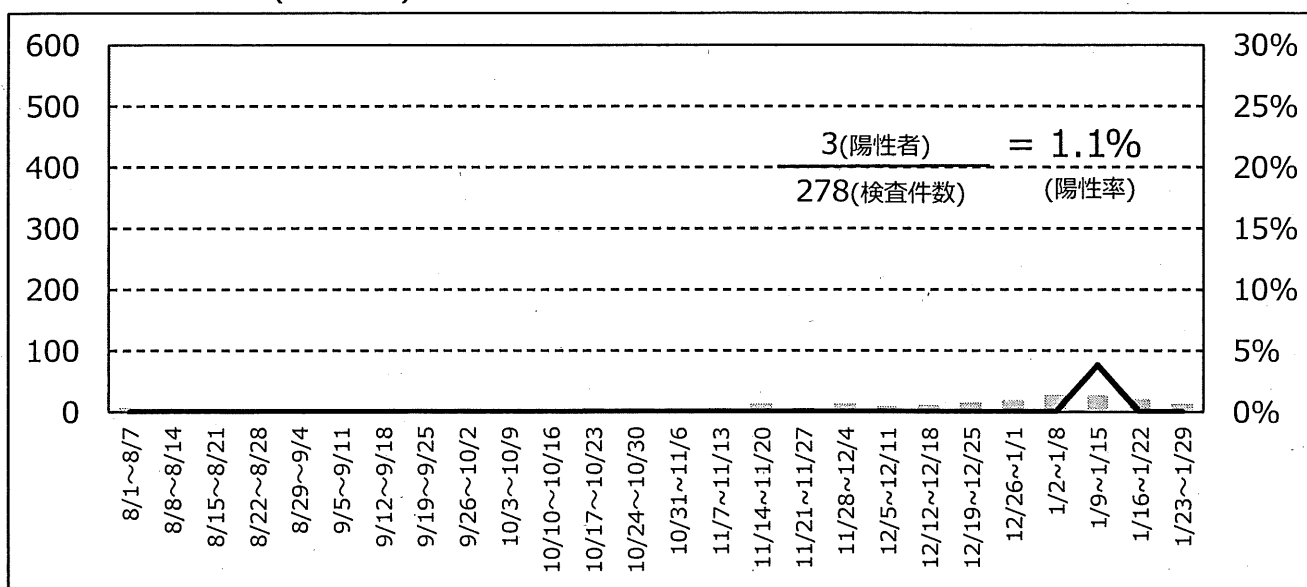


# 熊野保健所管内陽性率 (n=326)

全体陽性率(n=326)



疑い例検査陽性率 (n= 278)



接触者検査陽性率 (n=48)

